

2021 G1スプリンターズS「KT師重賞本命と見解」

ダービーをはじめとする日本の主流条件では、サンデー系の伸びに米国血統のスピードを強化した配合が主流。

ですが、この傾向とは、スプリンターズSは趣が異なります。

スプリントの名血に欧州の馬力がサポートされた配合が走りやすいレース。
(昨年のグランアレグリアは例外的な馬)

ー 昨年の勝ち馬タワーオブロンドン。
3年前の勝ち馬ファインニードルはいずれも母父にフランスの名血ダルシャーン。

昨年も人気薄で3着のアウイルアウェイは母父が欧州型。
かつトニービンの血も持つ馬。

3年前に人気薄で3着のラインスピリットも母系にトニービン。

いずれの馬も叩いてガッツが強化される欧州血統らしく
前哨戦を使って良化していたのも見逃せないポイント。

本命はピクシーナイト。

父欧州型。母父欧州型。
母父、母母父はJRAのスプリントG1勝ち馬。
欧州血統が強いため、前哨戦を使っての上昇も見込めます。

ダノンスマッシュは昨年の当レースで
間隔が詰まったローテーションながら僅差の2着。

自身のパフォーマンス発揮には休み明けが理想。昨年以上に走れそう。

レシステンシアはスプリント戦の経験は中京芝 1200m に距離短縮で出走した 2 回。

中京芝 1200m は直線も長く、中距離指向の馬でも走りやすいコース。

中山芝 1200m 戦で中京での 2 回ほど走れるかは疑問。

前走よりもパフォーマンスを下げると予想します。

ジャンダルムは母ビリーヴが芝 1200m で G1 を 2 勝した名牝。

父系には米国型ですがサドラーズウェルズも。

問題は兄も出遅れグセがついたら治らなかったように、

今回も出遅れる確率の方が高いこと。

出遅れてもセントウル S の中京向きの馬がパフォーマンスを下げ、

中山向きのジャンダルムがパフォーマンス上げれば馬券圏内も見込めますが…